

漁民と手をつなぐ広報誌



第1回

イガイ勉強会開催

7月9日(水)おいしい魚加工支援ラボ(鶴岡市加茂)で、「みんなにもっとイガイについて知ってもらおう! 令和7年度第一回イガイ勉強会」が開催されました。

これは山形県漁協が主体となり、庄内浜に豊富に資源があると言われているイガイの利活用促進を目的に、飲食店関係者・仲買人・浅海漁業者など地域の食・水産に携わる方々を対象に開催されたもので、講師にフレンチビストロ「ポムドテール」の有坂公寿シェフをお招きし、イガイ調理の実演を行ったほか、山形県水産研究所の古山遥氏より庄内浜のイガイの現状について、浅海漁業者の粕谷雅昭氏と土田信明氏からはイガイ漁の実状を講話していただくなど内容盛りだくさんの勉強会となりました。

庄内浜でも知る人ぞ知る夏の味覚イガイ、これから大注目です!



第60回通常総代会開催



第60回通常総代会は6月24日(火)午
前10時より本所講堂において総代93
名(内19名が委任状出席)の出席と
多数のご来賓の方々、また各関係機
関代表者のご臨席のもとに開催され
ました。

冒頭、本間昭志組合長が挨拶を行
い、続いてご来賓の吉村美栄子山形
県知事(荒木泰子山形県庄内総合支
庁長代読)、矢口明子酒田市長(安川
智之副市長代読)、皆川治鶴岡市長
松永裕美遊佐町長、古川智久農林中
央金庫山形支店長からそれぞれご祝
辞を頂戴いたしました。

次に、酒田地区の長谷川保正氏が
議長に選出され、第1号議案令和6
年度事業報告及び損失処理案の承認
に関する件、第2号議案 令和7年
度事業計画の設定に関する件、第3
号議案 令和7年度における借入金
の最高限度に関する件から第6号議
案令和7年度における役員報酬の支
給に関する件まで6議案が審議され
いずれも可決承認されました。

令和6年度の事業概要

当漁協の状況は、主要魚種であるス
ルメイカ、ハタハタ、サケなどの漁獲量
が回復せず、22億3千万円の水揚げ目
標を大きく下回る18億1千万円となり
過去最低額となった令和5年度を1億
5千万円程下回る結果となりました。
急激な収益の悪化に伴い、本所・さかた
総合市場と水産加工場の事業において
は約7千万円の減損処理の指摘を受け、
4期連続の損失計上する非常に残念な
結果となりました。

また、5月には金融不祥事の発生も
あり、コンプライアンス態勢等内部統
制の強化を図り、県行政とJFマリン
バンクの指導を受け不祥事の未然防止
対策や各種法令遵守の徹底に取り組ん
で参りました。その内容は毎月、県行
政を通じて国に報告、全国漁業協同組合
連合会にも報告をしております。

当漁協の信用事業継続に向けた取組
については、自己資本比率の急激な低
下を食い止めるべき施策を進めてはい
るものの予断を許さない状況にありま
す。

この事実を真摯に受け止め役員一
丸となり収支構造の改善と自己資本比
率の向上、繰越欠損金の早期解消に向
け財務基盤の強化に努めて参ります。
組合員皆様のご理解とご協力を賜りま
すよう重ねてお願い申し上げます。
主な事業活動と成果については次の
とおりです。

① 信用事業

貯金業務については、計画目標を48億
円500万円とし、本年度も「みな貯金推
進運動」等を展開しながら、個人貯金残
高の維持・確保を図り、最終的に年度末
残高は、43億8500万円、平均残高では45

億6100万円となり計画比で90.4%となり
ました。
貸出業務については、計画目標を5億
4400万円とし伸長融資に努めました。永
久劣後ローンの繰上償還があり、最終的
な年度末残高は4億6500万円となり、計
画対比85.4%という結果となりました。
なお、貯貸率は10.6%となり、前年対比
0.5%下回りました。

② 共済事業

長期共済では、基幹種目である普通厚
生共済「チョココー」は推進保障共済金額
12億円の計画に対し、実績は9億8千320
万円となり、達成率は81.9%となりまし
た。生活総合共済「くらし」は、補償共
済金額4億5千万円の計画に対し、実績
は5億5千500万円、達成率は122.3%とな
り、計画を達成しました。

また、長期共済契約保有実績では、「チ
ョコー」は48億6千600万円、対前年度比
99.6%(1千850万円の減少)、「くらし」
は31億6千130万円、対前年度比107.8%(2
億2千970万円の増加)となりました。

短期共済では、乗組員厚生共済「ノリ
コー」は保障共済金額8億2千450万円の
計画に対し、5億2千750万円(達成率は
63.9%)、火災共済「カサイ」は保障共
済金額56億4千400万円の計画に対し、46
億3千790万円(達成率82.0%)となり
ました。

「チョココー」「ノリコー」においては、
組合員・家族構成員の減少と、漁業従事
者の高齢化に伴う廃業や減船などといっ
た要因があり、生命共済の保有契約(取
扱高)実績が年々減少する一方で、「くら
し」共済は全国各地で多発する自然災害
での被害の大型化に対して、関心の度合
が依然と高く、補償内容の見直しが行な
われたことで、建物共済の保有契約(取

扱高)実績が増加しています。
右記のことから、共済事業総利益は8
百万円となり、前年度に対して90.7%実
績率、計画に対しては76.6%の達成率と
なりました。

③ 購買事業

当組合の主要取扱品目であるA重油の
供給数量は、生いか漁船の不漁による入
港隻数の減少、中型いか釣船への供給が
減少し、底曳網漁船をはじめ沿岸漁船に
ついては前年度並みの出漁日数となりま
したが前年度から34kl減の3433kl。
前年度比で90.9%、計画比85.8%とな
りました。

軽油については重油船の油種変更や工
事船への供給もありましたが、生いか船
の不漁による入港隻数の減少が大きく響い
たことで前年度より同水準の636kl。計画
比79.5%となりました。

灯油については企業向けの供給は67kl
増加しましたが、個人向けについては前年
度より16klの減少となり、オール電化住
宅の普及や、地域世帯数の減少等が影響
し毎年減少傾向にあります。前年度から
51kl増の1120kl。前年比104.8%、計
画比101.8%となりました。

また、潤滑油については前年度同水準
の28klで推移しております。これにより
石油類全体での供給数量は5217klで
前年比94.7%、計画比88.4%となりま
した。

魚箱類について主要漁業における不漁
により最低数量だった前年度より更に5
万ケースの減少となり、供給数量48万ケ
ースで前年度比90.2%、計画比65.7%
の実績となりました。

一般資材類につきましては補助事業や
制度資金の購買取扱もありましたが、前
年度比72.6%、計画比105.8%の実績と
なりました。

その結果、購買事業総利益は1億35百
万円となり前年比102.3%、計画比86.1
%の達成率となりました。

④販売事業

受託販売では昨年度に引き続き、今年度の水揚数量2,508トンと過去最低となりました。底曳網漁業は上期好調に推移していましたが、下期に入り天候不順が続く風数の激減により約40,000千円の減。小型イカ釣漁業は極度の不漁となり約20,000ケース減、中型イカ釣漁業については6,200ケース減、イカ釣漁業水揚金額前年度比較では182,994千円減という結果になりました。定置網ではアジ、マス、はえ縄ではサワラ、刺網ではヒラメ、採介藻漁業はサザエ、もずくと漁獲増となり魚価も高値安定となったものの、水揚金額は19億を下回る前年対比1億58百万円減の18億17百万円と数量同様過去最低となりました。

買取販売では冷凍イカについては記録的な不漁となり、単価は23・25サイズで1ケース2万円まで高騰しました。漁期後半は小型サイズの水揚数量増加と高値続きによる需要の低下により、最終的に3月末で12,063ケース(121百万円)の在庫となりました。鮮魚買取については取扱金額およそ6,900万円となり、昨年より500万円ほど増加いたしました。その他の取組では、県市町行政及び県水産物卸売協会と連携し、ふるさと納税返礼品や県内陸部量販店での庄内浜産水産物の消費拡大キャンペーンを展開しました。

以上のことから、本年度の販売事業総利益は1億10百万円となり、前年度対比110・9%、11百万円の増、計画に対しては32百万円の減、達成率は77・7%にとどまりました。

⑤製氷冷凍冷蔵事業

小型イカ釣漁業への供給については、夏季、冬季ともに県外船への供給が前年に比べ大幅に減少し、前年対比51%の供給数量となりましたが、底曳船を主とする地元沿岸漁業への供給は前年度並みに推移しました。

この結果、数量で前年対比71・7%の2万7千本、供給高では前年対比97・1%の57百万円となりました。

製氷事業経費については、第60事業年度に計画していた冷凍機オーバーホールを行ったことにより修繕費の増大がありました。

その結果、製氷冷凍事業総利益は7百万円となり、前年度に対し43・6%の実績率、計画に対し25・1%の達成率となり非常に厳しい結果となりました。

⑥加工事業

水産物の漁獲量減少により加工原料向きの価格上昇となり厳しい状況でありました。加工製品では、主力スルメイカ製品含む値上げによりお土産店等での消費が鈍化し、製品販売は前年度対比82・9%、39百万円となりました。それに合わせ、加工製造向け原料販売においても各社の販売が不調となり販売数量が落ち込み冷凍品供給高は前年度対比93・4%、59百万円となっており、産直事業「庄内海丸」は城西店と、令和5年11月に開店した桜田店との2店舗運営となり、内陸部での庄内浜魚の消費拡大に繋がりました。販売高は前年度対比121・5%の66百万円を着地したもの、計画目標の68百万円の達成には至りませんでした。

これらにより加工事業全体の収益は前年度対比97・8%の1億75百万円となりました。

加工事業直接費は資材等の値上げや固定費が高む中、コスト削減に努め前年度対比96・8%、165百万円となりました。

その結果、加工事業総利益は10百万円の実績となり前年度対比110百万円の増、計画に対して2百万円の増となりました。

また、本年度も鶴岡市学校給食庄内産魚介類利用促進事業において、地場産魚食普及や原料高騰により安定した供給を行うことができました。

「庄内海丸」事業では県、2市1町の令和6年度庄内浜水産物中食消費拡大モデル

ル事業により、県内陸部での中食事業を広く実施し庄内浜産水産物の消費拡大に向け好評価を得ております。今後も引き続き庄内浜のPRを行うとともに地産地消・魚食普及に努めて参ります。

⑦指導事業

繁殖保護については、県・沿岸市町の協力を得て、各種種苗の放流を実施し、資源の増殖及び繁殖保護に努めました(放流尾数 アワビ168,600個、ヒラメ118,000尾、トラフグ34,000尾)。継続して取組んでいるにもかかわらず、資源状況が悪化する現状を鑑み、回帰率や回収率の向上のための放流適期・放流手法の検討を、引き続き県水産研究所、市町と連携して行っており、特にアワビについては、稚貝の放流適期と適正な放流場所の確保に努めるよう浅海漁業連合会を通じて放流技術の情報共有を行いました。

営漁指導については水産振興に関する要望事項を取りまとめ、県知事ならびに庄内総合支庁長に対し要望しました。

また、「浜の活力再生広域プラン」「浜の活力再生プラン」に継続的に取組んだほか漁業経営の改善に意欲的に取り組む中核的漁業者を支援するため、県・市町と連携し、「浜の担い手漁船リース緊急事業」を積極的に推進することによって、新船建造・代船導入・機関換装等、浜の漁業経営構造の改革に取り組んでおります。

「水産業成長産業化支援事業」を活用し、新たに漁業に就業する漁業者の中古漁船の取得を支援するとともに、既存の漁業者についても水産業の成長産業化に資する漁労資機材の取得を支援しました。

ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業において、省燃油活動等支援事業及び省資源・利用効率化等支援事業を活用しコスト削減に取組みました。また、ALPS処理水海洋放出による風評被害によって生じた水産物の価格下落、事業売上減少等に

よる減収にかかる損害について賠償請求をおこないました。

岩ガキ・イ貝については、県の検査要領に基づく検査を受け、県産貝類の安全性の確保とそのアピールに努めました。

その他の取組として、外国人漁業実習制度において当組合が監理団体となり、実習生の受入れに継続して取り組みました。中型イカ釣り、定置網および底曳網漁業において、インドネシア研修生14名を受け入れております。新規漁業者関係事業について今年度4名が研修を実施。3名は研修後漁業従事し1名は研修を継続しております。

洋上風力発電事業について、海洋再生可能エネルギー発電設備促進区域に指定されていた遊佐沖については、経済産業省及び国土交通省が事業者の公募を実施し令和6年12月24日「山形遊佐洋上風力合同会社」が選定され、漁業協同調策・振興策等の具体的内容について協議を開始しております。酒田沖については国による適地確認のための調査がされており、県に対しては決して前のめりになりませんが、誤解のない丁寧な説明を求めています。併せて、当該海域を代々利用している地元漁業者が、洋上風力発電に対して正確に理解するとともに、将来を見据えた判断ができるよう情報の提供に努めました。

令和7年度臨時総会

令和7年度臨時総会は6月24日(火)通常総代会終了後に本所講堂において開催されました。

通常総会同様、酒田地区の長谷川保正氏が議長に選出され第1号議案定款・規約の一部改訂について、可決承認されました。

また、特別決議として、「海洋環境の激変等に立ち向かい浜の未来を切り拓く特別決議(案)」が上程され

横山財務副大臣、 庄子農林水産大臣政務官来組！

6月1日(日)、山形県漁協本所講堂において、横山信一財務副大臣(参議院議員)と庄子賢一農林水産大臣政務官(衆議院議員)が来組され、漁業者18名と意見交換の場が設けられました。

両議員からの挨拶後、県漁協五十嵐部長からスルメイカの不漁や時化による底曳網漁業の不振等から大変厳しい経営状況に陥っていることについての説明があり、漁業者からは最近の漁獲動向をはじめ、苦しい経営状況が伝えられました。またリース事業や、漁業経営セーフティネット構築事業を始め、オーダーメイド補助金等の事業拡充、条件緩和について、国、県、市に対する要望や意見が出されました。



人事異動のお知らせ

※5月号において掲載漏れがございました。大変申し訳ございませんでした。

◆異動(発令日:令和7年4月1日付(は旧所属)) 菅原 和行 由良水産加工場係長 (由良水産加工場)

理事会情報

令和7年度 第2回 理事会議案
開催日…令和7年6月3日(火)
場所…本所 第1会議室

【協議事項】

- 1 令和6年度 期末監事監査の報告について
- 2 第60事業年度通常総代会の提出議案について
- 3 令和6年度 貸借対照表・損益計算書及び注記表並びに業務報告書について
- 4 令和7年度 事業計画(案)について
- 5 令和7年度 賦課金の設定について
- 6 臨時総会提出議案について
- 7 定款・規約の一部改正(案)について
- 8 信用手数料の改定(案)について
- 9 令和7年度 資金運用計画(案)について
- 10 令和7年度 栽培漁業地域展開促進事業実施計画(案)について
- 11 理事の利益相反行為に該当する貸付金の審議について
- 12 令和7年4月末現在における収支状況について
- 13 月次経営数値進捗会議(4月)について
- 14 水揚代金清算日の見直しについて
- 15 「山形県漁業共済事業運営委員会」の選任について

【報告事項】

- 1 組合員の加入・脱退について
- 2 貸付金利率の改訂について
- 3 令和6年度「庄内海丸」の収支について
- 4 令和6年度 自己資本比率の状況について
- 5 令和6年度 税効果会計の適用について
- 6 令和6年度 固定資産減損損失の兆候について

- 7 不祥事再発防止策進捗会議(4月)について
- 8 信用事業のあり方の検討について
- 9 その他

令和7年度 第3回 理事会議案
開催日…令和7年7月8日(火)
場所…本所 第1会議室

【協議事項】

- 1 令和7年度における理事の報酬(案)について
- 2 行政庁に提出する業務報告書及び事業計画書について
- 3 令和7年度指導事業賦課金等徴収方法及び時期(案)について
- 4 2025年度漁協運動功労者表彰候補者の推薦について
- 5 運動方針アクションプランについて
- 6 理事の利益相反行為に該当する貸付金の審議について
- 7 令和6年度ディスクロージャー誌の発行について
- 8 2025年度全漁連賦課金等納入について
- 9 令和7年6月末現在における収支状況について
- 10 信用事業のあり方について
- 11 借入金 の限度額について

【報告事項】

- 1 組合員脱退に伴う出資金の払戻について
- 2 組合員の脱退について
- 3 令和7年度第1四半期における販売促進活動について
- 4 マネロン等の防止に係る対応状況について
- 5 貸付金利率の改定について
- 6 令和7年6月末現在における貸付金の状況について
- 7 令和7年6月末現在における資金運用状況について
- 8 令和7年6月末余裕金の運用状況について
- 9 その他

水産関係団体 令和6年度 事業の概要

日本漁船保険組合 山形県支所

令和6年度事業概要は漁船保険（普通損害保険及び満期保険）の引受では、加入隻数440隻（前年同期比95.7%、20隻減）、保険金額は5,053,590千円（同99.3%、34,730千円減）となりました。漁業者の高齢化による廃業や漁船の老朽化に起因する在籍漁船の減少に伴い、基本契約となる漁船保険については前年度と比較し加入隻数、保険金額は減少しましたが、リース事業による新規加入、機関換装等があったこと等により、保険料は前年度並みとなりました。

また、船主責任保険は、基本損害については加入隻数、保険金額、保険料とも減少しましたが、乗客損害および人名損害については遊適法改正や警戒監視船に対応するため等の要因により、加入隻数、保険金額、保険料とも増加しました。なお、保険金支払状況については、漁船保険及びその他の保険についても保険金支払件数、金額ともに前年と比較し減少しました。

各事業別の実績は下表のとおりです。

表1 漁船保険地区別加入実績及び支払実績

支所名	在籍漁船	加入漁船	保険金額	純保険料	事故件数	支払保険金	損害率	事故率
念珠関	128隻	109隻	822,020千円	12,677,485円	7件	3,013,929円	23.8%	6.4%
温海	34	30	154,930	2,296,322	6	1,079,504	47.0	20.0
豊浦	62	53	448,990	6,138,152	8	628,929	10.2	15.1
由良	63	53	411,920	7,769,172	8	4,590,048	59.1	15.1
加茂	46	28	146,770	3,081,876	6	2,845,292	92.3	21.4
さかた総合	81	76	754,740	14,732,920	19	20,387,850	138.4	25.0
吹浦	36	34	138,770	2,881,585	2	860,654	29.9	5.9
飛鳥	70	53	197,450	3,824,042	14	6,082,440	159.1	26.4
その他	6	4	1,978,000	5,450,200	0	0	0.0	0.0
合計	526	440	5,053,590	58,851,754	70	39,488,646	67.10%	15.91%
前年同期	546	460	5,088,320	58,991,791	78	50,346,384	85.34%	16.96%
前年同期比(%)	96.3%	95.7%	99.3%	99.8%	89.7%	78.4%	78.6%	93.8%

*在籍漁船には山形県漁業協同組合所有船「第18漁連丸」を含む。

*在籍漁船隻数は、令和7年3月31日現在。加入漁船数は、令和6年4月1日～令和7年3月31日までの累計。

表2 漁船船主責任保険等加入実績と保険金支払状況

種類	本年度契約金額		支払保険金		種類	本年度契約金額		支払保険金		
	隻数	金額(千円)	件数	金額(円)		隻数	金額(千円)	件数	金額(円)	
漁船船主責任保険	基本損害	432	334,300,000	6	7,067,118	漁船乗組船主保険	322	276,500	1	500,000
	乗客損害	94	39,700,000	0	0	漁船積荷保険	0	0	0	0
	人命損害	71	193,000	0	0	プレジャーボート責任保険	214	29,300,000	9	1,033,294

令和6年度 無事故漁船所有者等表彰



水産庁長官表彰

由良総括支所 第八長宝丸 佐藤 昭

日本漁船保険組合会長表彰

加茂出張所 有栄丸 吉岡 正美

加茂出張所 第十八白山丸 板垣 貢

吹浦支所 栄祥丸 土門 良一

全国合同漁業共済組合 山形県事務所

本県の令和六年度の水揚高は18億84百万円となり、前年度対比で84百万円の減少となりました。主な要因としては沿岸漁業が総じて水揚不振となり、特に底曳網漁業、定置網漁業及びいか釣り漁業は水揚げ減少となりました。また、恒常的な問題となっている漁業者の高齢化、魚価安と燃油価格の高止まり状況、海洋環境の変化・担い手不足等も相まって漁業経営を一段と厳しくしております。

このような漁業環境にあって、本年は「ぎよさいと積立ぶらす」の一層の定着を期して普及推進全国運動を展開するとともに、併せて「資源管理・収入安定対策事業」を説明しながら未加入船を中心に推進運動を展開しました。

その結果、加茂地区の小型合併漁業で1件の契約割合引上がありました。前年度同期比での漁獲共済の加入件数は156件と13件減少となり、共済金額においては前年を大きく下回ることとなりました。

長期にわたる漁業環境、経営環境の悪化が「ぎよさいと積立ぶらす」にその役割と期待を更に大きくするものと思われず。

ここにあらためまして、漁業者各位のご理解とご協力に感謝を申し上げます。

**ぎよさい加入で
安心経営**



つなぐちゃん

(令和6年度 20都府県事務所別 実績一覧表)

事務所別引受実績 (単位:百万円)

事務所	前年		
	本年	前年	増減
秋田県	812	813	△1
※ 山形県	1,378	1,405	△27
福島県	4,541	4,648	△107
茨城県	19,318	19,244	74
東京都・本所	5,568	5,465	103
神奈川県	4,209	4,190	19
静岡県	13,359	12,394	965
新潟県	5,521	5,552	△31
石川県	11,397	11,422	△25
福井県	6,223	5,882	341
愛知県	7,242	6,586	656
京都府	3,820	3,713	107
大阪・和歌山	9,167	8,617	550
岡山県	2,240	2,283	△43
鳥取県	11,110	11,080	30
島根県	12,382	12,022	360
山口県	6,557	6,642	△85
高知県	28,075	27,417	658
大分県	16,390	17,077	△687
沖縄県	7,797	7,269	528
合計	177,106	173,721	3,385

事務所別支払実績 (単位:百万円)

事務所	前年		
	本年	前年	増減
秋田県	43	29	14
※ 山形県	41	22	19
福島県	4	267	△263
茨城県	124	223	△99
東京都・本所	32	19	13
神奈川県	70	73	△3
静岡県	387	179	208
新潟県	178	194	△16
新潟県	653	106	547
福井県	41	59	△18
愛知県	43	58	△15
京都府	24	54	△30
大阪・和歌山	50	58	△8
岡山県	43	78	△35
鳥取県	164	117	47
島根県	206	189	17
山口県	140	168	△28
高知県	128	80	48
大分県	28	307	△279
沖縄県	349	288	61
合計	2,748	2,568	180

積立ぶらす (単位:百万円)

事務所	漁業者積立額	払戻補填金
秋田県	44	60
※ 山形県	57	140
福島県	164	309
茨城県	602	928
東京都・本所	393	264
神奈川県	332	759
静岡県	1,005	1,417
新潟県	484	1,353
新潟県	664	848
福井県	320	496
愛知県	241	191
京都府	188	117
大阪・和歌山	380	200
岡山県	108	48
鳥取県	449	109
島根県	572	766
山口県	368	773
高知県	1,077	479
大分県	761	104
沖縄県	220	272
合計	8,429	9,633

全国合同漁業共済組合 役員と運営委員について

6月26日開催の全国合同漁業共済組合第23回通常総代会において、役員改選が行われました。

〈任期〉

令和10年6月の通常総代会終了時まで

〈重任〉

代表監事 本間 昭 志(重任)

全国合同漁業共済組合 山形県漁業共済事業 運営委員

〈運営委員 任期〉

令和10年6月の通常総代会終了時まで

運営委員長	本間 昭 志(重任)
運営委員	西村 盛(重任)
運営委員	伊原 光 臣(重任)
運営委員	鈴木 徳 正(重任)
運営委員	田代 善 幸(重任)
運営委員	佐藤 昭(重任)
運営委員	榎本 敏 明(重任)
運営委員	飯塚 厚 司(重任)

JF共水連東北事業本部 山形支店

☆JF共済 2024年度加入状況 (単位：件、万円)

共済種類	実績		保有			
	件数	共済金額	件数	共済金額		
長期共済	チョコー	新規	106	99,110	829	507,610
		純新規		83,650	—	—
	年金	新規	3	12	289	1,999
		増額	6	22	—	—
短期共済	ノリコー	164	54,950	—	—	
	カサイ	297	486,649	—	—	

☆2024年度共済金支払状況

普通厚生共済 (チョコー)		生活総合共済 (くらし)		漁業者老齢福祉共済 (ねんきん)						
満期	39件	7,169万円	満期	5件	670万円	年金	164件	2,675万円		
死亡	7	3,704	事故	14	722	死亡	0	0		
入院・通院	83	639	計	19	1,392	計	164	2,675		
計	129	11,512			火災共済 (カサイ)					
				乗組員厚生共済 (ノリコー)		団体信用厚生共済 (ダンシン)				
死亡	0件	0万円	死亡	0件	0万円	入院他	1	7	0件	0万円
入院他	1	7	計	1	7	計	1	7	0件	0万円
計	1	7								

JF共済は2024年度「浜の笑顔」を共済とともに、JF共済3か年計画(2023年度～2025年度)の中間年度として、浜のあんしんサポート運動を主体とした「組合員・地域住民の暮らしの保障に万全を期す」取り組みを実施しました。本県JF共済推進本部は、JF共済の普及拡大に向けた推進活動をはじめ、共済担当職員を対象に各種会議・研修会の充実を図るなど、組合員や地域住民が安心して共済を利用していただけるよう、事業体制の強化に取り組みました。また、東北6県合同による「JF共済めぐりめぐる『推進カレンダー』」で実績UPキャンペーン」を行な

い、事業量目標の早期達成に向けたキャンペーンを実施しました。その結果、JF共済の基幹種目である生命共済「チョコー」は数量目標に対して達成率が82%となり目標達成には至りませんでした。一方、建物共済「くらし」は数量目標に対して達成率が123%となり目標達成することが出来ました。この「くらし」達成の要因としては令和6年能登半島地震による一連の地震被害をはじめ、昨年7月に県内で発生した記録的大雨での浸水被害など、自然災害補償に対する関心の高さから、戸別訪問活動を通じて補償内容の最新化の提案と補償の増額推進を実施した

ことが実績増加につながりました。2021年度よりスタートした「浜のあんしんサポート運動(通称：浜サポ)」は今年で実施5年目を迎えます。今後も引き続き各漁家世帯の台帳整備、契約内容確認活動を行ない、ご加入されている方々へのニーズに沿った必要保障(補償)の提案をさせていただきます。厳しい漁業環境のなか、共済加入等にご協力頂いた皆様に対し、深く感謝申し上げますと共に、今年度も積極的な運動展開をして参りますので引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

「JF共済3か年計画」運動スローガン (2023年度～2025年度)

「浜の笑顔を共済とともに」

がんばろう漁業 浜の応援団

「組合員のため」が「組合のため」に

浜のあんしんをサポート JF共済

2025年「JF共済」秋田・山形合同普及推進研修会 開催

7月8日(火)、2025年度「JF共済」秋田・山形合同普及推進研修会が酒田市希望ホールにて開催されました。本研修会は、秋田・山形両県のJF共済担当者が一堂に会し、各県域での普及推進の事例報告や意見交換、また、職員相互の親睦を図ることで普及推進の機運向上を目指すことを目的に2023年度から行われています。

3回目となる今回は共水連東北事業本部と共水連宮城支店から講師を招き、7月1日に一部制度改正された一時払介護共済「あしすと」と現在JF共済が全国で取り組み強化を図っている「法人契約」の推進方法について、事例を交えながら研修を行いました。

研修会終了後には決起集会在催され、共済事業にとどまらず日常業務における相談や意見交換が活発に行われました。

今後も連携強化を図り、両県の共済事業の更なる伸長を目指していきたいと思ひます。

JF共水連 山形支店 渡邊 圭



全国漁業信用基金協会 山形支所

1. 会員と出資金

会員数は新規加入0名、脱退1名により本年度末会員数は52名となりました。また、出資金は口数の増加により200千円増加する一方、脱退会員に対する払戻により3,250千円減少し、本年度末出資金は655,300千円となりました。

2. 保証業務

年間保証計画額90,000千円（漁業近代化資金：75,000千円、その他一般資金：15,000千円）を目標に保証推進を行った結果、年間保証引受額は26件90,600千円となり、その結果、本年度末保証残高は103件428,718千円となりました。前年度末対比では、

件数12件、保証残高3,307千円増加しております。

なお、資金種類別の保証状況は下表のとおりであります。

3. 代位弁済と求償権

本年度において、代位弁済は発生いたしませんでした。求償権の回収については、求償債務者等の高齢化等により厳しい状況にありましたが、回収計画2,300千円に対し26,263千円の回収実績となりました。その結果、本年度末求償権残高は前年度より6件26,263千円減少し、85件869,364千円となりました。

なお、資金種類別の回収状況は下表のとおりであります。

表1 債務保証と償還状況

(単位：件、千円)

区分	前年度末保証残高		保証引受額		償還額		代位弁済額		本年度末保証残高	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
漁業近代化資金	68	397,654	11	44,860	10	75,253	-	-	69	367,261
沿岸漁業改善資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般資金	金融公庫資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般緊急融資資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	借替緊急融資資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他一般資金	23	27,757	15	45,740	4	12,040	-	-	34
小計	23	27,757	15	45,740	4	12,040	-	-	34	61,457
計	84	425,411	26	90,600	14	87,293	-	-	103	428,718

表2 求償権回収状況

(単位：件、千円)

区分	前年度末求償権残高		代位弁済額		求償権回収額		求償権償却額		本年度末求償権残高	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
漁業近代化資金	9	90,486	-	-	-	5,263	-	-	9	85,223
沿岸漁業改善資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般資金	金融公庫資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般緊急融資資金	19	51,296	-	-	-	65	-	19	51,231
	借替緊急融資資金	18	297,554	-	-	3	11,118	-	15	286,436
	その他一般資金	45	456,291	-	-	3	9,817	-	42	446,474
小計	82	805,141	-	-	6	21,000	-	-	76	784,141
計	91	895,627	-	-	6	26,263	-	-	85	869,364



～酒と肴と鼠ヶ関～ イカ・マグロまつり2025開催

6月21日(土)県漁協念珠関支所市場において、～酒と肴と鼠ヶ関～イカ・マグロまつり2025が開催されました。

この祭りは初夏の旬であるイカとマグロを地酒で楽しむというもので、県内外からたくさんのお客様がご来場くださいました。

当日は、マグロの解体ショーが行われ大盛況だった他、マグロのサク、イカ焼き、いかめしなどが販売され、飛ぶように売れました。

おいしいイカやマグロを食べながら露店をめぐり庄内浜の初夏の旬が味わえるすばらしいイベントとなりました。

年金のお受け取りは漁協で！



令和6年度 水揚表彰

酒田市水揚優秀船表彰

区分	漁業種類	船名	船主名	所属支所等
県外	いか釣	50t以上	第86若潮丸	石垣漁業(株) 根室漁協
県内	底曳網	5t以上	第2漁吉丸	阿部 清浩 さかた総合市場
		5t未満	福傳丸	阿部 昌樹 さかた総合市場
	いか釣	5~30t	第18陸丸	池田 敏行 さかた総合市場
		5t未満	第28宝運丸	進藤 優一 さかた総合市場
			第21大幸丸	讃岐 隆 さかた総合市場
	地先	3~5t	第12善宝丸	佐藤喜代一 さかた総合市場
			金毘羅丸	讃岐 利行 飛鳥支所
3t未満		善昭丸	佐藤 清次 さかた総合市場	
磯見		豊幸丸	佐藤 秀樹 飛鳥支所	
		第3珠喜丸	進藤 一喜 飛鳥支所	

山形県漁協水揚優秀船表彰

漁業種類	船名	船主名	所属支所等
船凍県外中型船	50t以上	第86若潮丸	石垣漁業(株) 根室漁協
底曳網ほか	10~15t	第5平安丸	五十嵐安哉 念珠閣総括支所
		萬龍丸	飛塚 美和 念珠閣総括支所
		第21末廣丸	(有)末廣水産 念珠閣総括支所
	5~10t	第2漁吉丸	阿部 清浩 さかた総合市場
	5t未満	福傳丸	阿部 昌樹 さかた総合市場
はえ縄・一本釣	3t以上	第8海運丸	佐藤 良太 念珠閣総括支所
刺網ほか	1~3t	海成丸	本間 金弥 念珠閣総括支所
		海皇丸	本間健太郎 念珠閣総括支所
定置網		第18仁豊丸	(有)仁三郎 由良総括支所
採介藻ほか	1t未満	幸進丸	榊原 英樹 由良総括支所

鶴岡市水揚優秀船表彰

漁業種類	船名	船主名	所属支所等
底曳網	10t以上	第21末廣丸	(有)末廣水産 念珠閣総括支所
		第5平安丸	五十嵐安哉 念珠閣総括支所
		萬龍丸	飛塚 美和 念珠閣総括支所
	5~10t	第2千祥丸	佐藤 栄一 由良総括支所
		清徳丸	佐藤 清紀 念珠閣総括支所
	5t未満	欽幸丸	佐藤 欽也 由良総括支所
沿岸	3t以上	第8海運丸	佐藤 良太 念珠閣総括支所
		海成丸	本間 金弥 念珠閣総括支所
	3t未満	海皇丸	本間健太郎 念珠閣総括支所
		龍鵬丸	劔持 浩 念珠閣総括支所
定置網		第18仁豊丸	(有)仁三郎 由良総括支所
磯見	1t未満	幸進丸	榊原 英樹 由良総括支所
		白山丸	榊原 昭夫 由良総括支所
		第三開運丸	筒井 博樹 念珠閣総括支所

水揚優秀船漁撈長表彰

表彰基準	表彰者名	船名
県外船	本間 健	第86若潮丸

チョコ制度改正についてのお知らせ

日頃より、漁協の共済事業をご利用いただき誠にありがとうございます。

さて、JF共済では7月1日より、生命共済「チョコ」の一部制度改正を行いました。

今回の改正では、令和3年10月よりスタートしました一時払介護共済「あしすと」の掛金料率の見直しと年齢満期共済における満期年齢の追加が行われています。

「あしすと」は低廉な掛金でご加入いただけるようになったことで、従来より保障性がUPしました。(※ご加入に関する条件や共済金の支払条件に変更ありません。)

また、年齢満期共済については従来の60歳満期に加えて65歳・70歳満期の選択肢が増え、長く現役で漁を営む漁業者の皆様はもちろん、法人における定年年齢の引き上げによる保障延長にも対応いたします。

JF共済はこれまで以上に皆様のニーズに寄り添った暮らしの保障提供に努めてまいります。

保障内容・掛金等詳細につきましては山形県漁協本所・各支所または共水連山形支店までお問い合わせください。

JF共水連 山形支店 渡邊 圭

年齢満期に65歳・70歳が追加！

改正前

加入年齢	共済期間
18歳~55歳	60歳満期

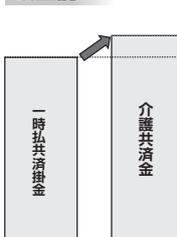
改正後

加入年齢	共済期間
18歳~55歳	60歳満期
18歳~55歳	60歳満期
18歳~55歳	60歳満期

新設!!

介護共済 あしすと 掛金変更！

改正前



改正後



お支払いしていただいた掛金に対する介護保障が大きくなりました

※市中金利の状況に基づき毎月掛金が変動します

2025年度 JF全国女性連 通常総会開催

7月14日(月)東京都日本橋フロントにおいて2025年度JF全国女性連通常総会が開催され、第1号議案2024年度事業報告および収支決算の承認に関する件、第2号議案2025年度事業計画および収支予算の決定に関する件から第4号議案役員の改選に関する件について協議され、全て承認されました。

なお、今回の役員改選で山形県漁協女性部和田光子部長が理事に就任することとなりました。

総会終了後には、JF共水連の栗岡部長より一時払介護共済「あしすと」の制度改正について情報提供があり、家庭を支える皆さんにとって大変興味深い内容とあって、質問がたくさん飛び交いました。

後列左から2番目 和田部長

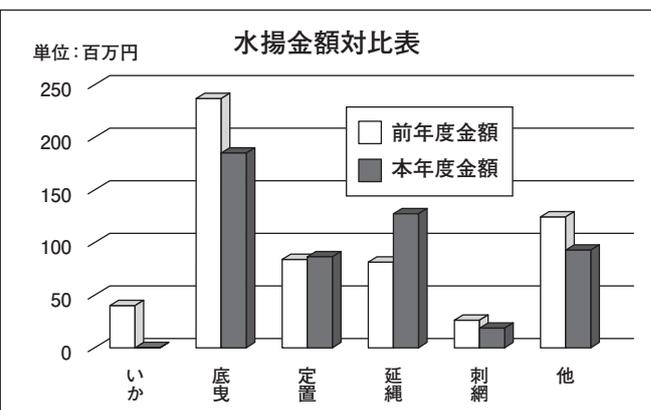
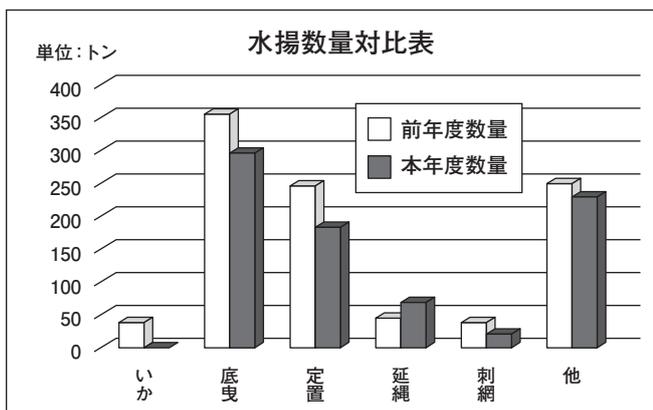


漁業種類別前年度水揚対比表

令和7年6月30日現在

(単位：kg, 千円)

	6月数量	本年度数量	前年度数量	数量増減	6月金額	本年度金額	前年度金額	金額増減
1 底曳網漁業	114,079	295,447	354,728	▲59,281	69,672	184,727	235,974	▲51,247
2 刺網漁業	2,537	20,688	37,759	▲17,071	1,909	17,677	26,222	▲8,545
3 いか一本釣漁業	554	554	38,505	▲37,951	514	514	40,231	▲39,717
4 船凍いか釣漁業	0	0	0	0	0	0	0	0
5 はえなわ漁業	44,172	68,707	45,964	22,743	74,719	126,682	80,896	45,786
6 ごち網漁業	9,356	9,564	6,565	2,999	4,455	4,576	3,560	1,016
7 定置網漁業	48,618	183,120	245,963	▲62,843	23,911	86,037	83,964	2,073
8 採貝藻漁業	14,385	34,553	46,812	▲12,259	15,401	38,628	52,126	▲13,498
9 その他の漁業	63,495	181,914	194,117	▲12,203	21,012	45,788	59,183	▲13,395
10 張網漁業	0	2,058	1,548	510	0	1,196	767	429
11 遊漁、直売、県外	0	0	0	0	991	2,043	8,851	▲6,808
合計	297,196	796,605	971,961	▲175,356	212,584	507,868	591,774	▲83,906



水揚情報

令和7年6月30日現在

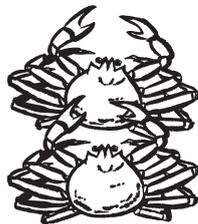
(単位：千円)

区分	支所別	水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
5月末迄水揚累計		294,232	7,777	10,007	53,552	29,408	56,412	43,869	11,294	81,913
月間水揚	県内船水揚	210,887	4,683	9,592	29,523	16,913	43,446	31,734	11,454	63,542
	県外船水揚	707	0	0	275	0	0	0	0	432
	合計	211,594	4,683	9,592	29,798	16,913	43,446	31,734	11,454	63,974
前年同月水揚		276,423	13,054	9,499	59,342	14,357	45,096	27,037	11,786	96,252
本年度水揚	県内船水揚	505,119	12,460	19,599	83,075	46,321	99,858	75,603	22,748	145,455
	県外船水揚	707	0	0	275	0	0	0	0	432
	合計	505,826	12,460	19,599	83,350	46,321	99,858	75,603	22,748	145,887
前年度水揚累計		582,924	26,962	15,602	113,631	49,152	106,539	70,602	18,112	182,324
増減		-77,098	-14,502	3,997	-30,281	-2,831	-6,681	5,001	4,636	-36,437
本年度水揚計画		1,888,000	92,000	61,000	582,000	123,000	284,000	183,000	32,000	531,000
達成率		26.7%	13.5%	32.1%	14.3%	37.6%	35.1%	41.3%	71.0%	27.4%

今あがっている魚

- 6月のベストテン -

前年対比 増↗減↘変らず→

水揚金額(千円)				漁獲量(kg)					
1	まぐろ類	73,895		↗	1	べにずわい		51,540	↘
2	するめいか	21,369		↘	2	まぐろ類		42,528	↗
3	ほっこくあかえび	13,630		↘	3	するめいか		32,643	↘
4	たい	10,186		↗	4	たい		20,824	↗
5	かき貝	9,551		↘	5	にぎす		19,282	↗
6	べにずわい	7,216		↘	6	ぶり・いなだ		15,697	↘
7	ぶり・いなだ	6,634		↗	7	あじ		12,671	↘
8	もずく	5,958		↘	8	さざえ		8,990	↘
9	あじ	5,437		↗	9	さば		8,502	↗
10	さざえ	5,253		↘	10	ほっこくあかえび		6,457	↘

月間MVP

月間MVP

●夏といえば海水浴。この時期になると、「海に行こう!」と毎日のように子供達から言われ、重い腰を上げ、やっとのこと準備して海に連れて行けば、今度はふざけあってケンカに発展(炎天下でのケンカの仲裁は体にこたえます)。当然「ケンカするな!」と言っわけですが、全く言うことを聞かない。そこでふと思ったのですが、大人がケンカ(戦争)をしているのに子供に「ケンカするな!」とは言えないのではないかと。子供から「大人もケンカしてるじゃん」と言われたら何も言い返せないなど。なんて思っていたら、気づくと子供たちはすっかり仲直りして遊んでおりました。兎にも角にも各地の戦争が1日でも早く終わって、子供達に正々堂々と「ケンカするな!」と言える日が来ることを祈るばかりです。

●7月は参院選がありました。各政党・候補者が様々な政策を有権者に主張しておりましたが、今一番重要なのは一次産業ではないでしょうか? 昨今の米不足問題では、「米がなければ海外産の米を買いなさい」と発言する政治家もいます。日本の農家や漁業者を守らないで、本当に日本の政治家といえるのでしょうか?

●一次産業には、農家や漁業者の高齢化や就業人口の減少等、問題が山ほどありますが「かっこよくて、感動して、稼げる」新3Kを目指して、手厚い政策ができる政党・政治家がでてくれることを期待しています。当然、当組合においても漁業者の所得向上のために何ができるかを第一に考え、職員一同これまで以上に邁進してまいります。

●「すいさん山形」は今後もますます皆様のお役に立てるような情報を提供できるよう努めてまいりますので、ご意見・情報などございましたらいつでもお気軽にご提供の程よろしくお願いたします。



酒保の海だより

酒田市の海上安全指導員が安全功労者内閣総理大臣表彰受賞

令和7年7月1日、プレジャーボート等の小型船舶の航行安全のため、ボランティアで安全指導を行っている海上安全指導員の渡邊さん（酒田市在住／正組合員）が、令和7年度安全功労者内閣総理大臣表彰を受賞されました。

渡邊さんは、昭和60年7月に海上安全指導員に指名されて以来、約40年の長きにわたり、プレジャーボート等の小型船舶を中心に、気象・海象の最新情報の入手、連絡体制の確保、出入港の届出の励行、法令やマナーの励行など安全指導（延べ2,364回（令和6年末現在））を行ってこられました。

受賞決定の通知を本人にお伝えしたところ、「東北で初の受賞に驚きを隠せない。酒田海上保安部と一体となって行ってきた活動が評価されたことは、大変名誉なことです。うれしく思います。」、また、受賞後の心境についてお伺いしたところ、東京まで赴き受賞することができてよかったことや、「瀬口良夫海上保安庁長官にもお会いでき、これまでの自身の活動に対するねぎらいのお言葉をいただき、今後の活動の励みとなりました。」とコメントされました。酒田海上保安部では、引き続き、海上安全指導員と連携した海難防止活動を通じて、小型船舶の安全確保に努めてまいります。



「表彰の様子(総理官邸)」



「海上保安庁長官と記念撮影(渡邊さん左)」



2025
7/16▶31

海の事故ゼロキャンペーン
～海難0への願い～

酒田海上保安部

6月14日、中型いか釣り船団の出航式が酒田市港袖岡埠頭で開催されました。

強い雨脚でしたが、出航を見送ろうとたくさんの方が港に集まりました。

昨今、スルメイカ漁は記録的大不漁が続いており、そのあおりを受け、いか釣り船



団は今年度3隻だけとなってしまいました。

しかし、本間船団長は、「よい場所が見つかれば、大漁も期待できる。今後はスルメイカだけでなく、ケンサキイカ漁も見据えている。」と決して希望を捨てずに前進する姿を見せてくれました。今期こそは実り多い漁となり、皆さまが笑顔で無事に帰港されることを、心よりお祈り申し上げます。

雨の日の出航は、古くから「土地や海が清められ、神聖な状態になる」とされており、神様の祝福を受けられる縁起の良い日とされています。

そのような良き日にあたって、船団の皆さまが安全に航海され、豊かな恵みにめぐまれますよう、心よりお祈り申し上げます。



中型いか釣り船出航

第3回 漁火祭り開催

6月13日(金)、14日(土)の二日間にわたり第3回漁火祭りが開催されました。

この祭りは漁火の灯りと太鼓の音を聞きながら酒田のお酒とグルメを楽しむためのイベントです。

初日は晴天に恵まれ、来場者は美しい夕日を見ながら、日が沈んだ後には小型いか釣り船の漁火を肴に、お酒を楽しんでいました。残念ながら翌日は土砂降りの中での開催となりましたが、たくさんのお客様からご来場いただきました。当組合ではイカ焼きを販売し、両日ともに飛ぶように売れました。

回を重ねるごとに口コミで人気広がっているこの祭り、今後も目が離せません。

